

授乳用クッション

バックルタイプ



授乳時の お助けグッズ

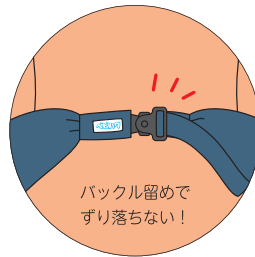
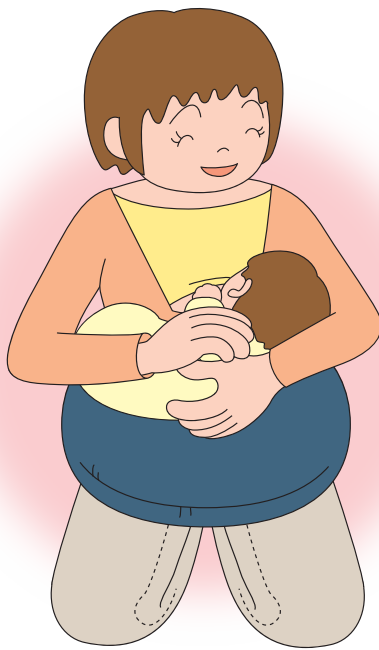
前かがみの姿勢が続くと腕や腰に負担がかかりがち。授乳用クッションはしっかりとした厚みで腕を支えるから、腕や腰の負担が軽減され、リラックスしながら授乳できます。

ベビハグ

日本製



インディゴデニム



バックル留めで
ずり落ちない！

<お手入れ方法>

- ※手洗い可
- ※洗濯機洗い、脱水機可*（洗濯ネット使用）
- ※漂白剤、乾燥機、アイロン使用不可
- ※形を整えて、風通しの良い日陰で平置きにしてしっかり乾燥させてください。
- ※他の物と同時洗濯する場合は、色落ち、色移りにご注意ください。
- ※バックルを外して洗濯する場合は、紛失しないようご注意ください。

* 脱水は様子を見ながら、1分以内を複数回行ってください。

<カバーのかけ方>

- ※本体のダーツ（縫い目）が下になるようにカバーを被せてください。

詳しいお手入れ方法はHPをご覧ください。



※商品の交換・返品は、購入先にお問い合わせください。



骨盤ケアとマタニティ&ベビーケア用品

トコちゃんベルトの青葉

有限会社 青葉 <https://toco-chan.jp>

〒578-0984 大阪府東大阪市菱江4丁目6-1
TEL.072-960-0507 FAX.072-960-0508



使用方法例

※実際の商品とは色柄が異なる場合があります。ご了承ください。



パチンと音がするまでしっかりとめましょう



1 体の横でベルトのバックルをとめ、クッションが正面にくるように回します。

クッションとお母さんの体との間に少しすきまがあるか確認しましょう。

すきまの目安は、握りこぶしひとつ分～

※赤ちゃんの体格に合わせて調整しましょう。

すきまを開けずにセットすると、赤ちゃんの背中の丸みを保ちにくくなります。



抱っこしにくいときはハンドタオルなどを握って抱く方法も



2 赤ちゃんの背中を丸くするように抱っこします。

3 赤ちゃんをクッションのふくらみに乗せます。

4 赤ちゃんを体ごとお母さんに向けてやさしく転がすように抱きよせます。



体勢がしっくり来ないときは、クッションを表裏逆で使う方法も試してみましょう



赤ちゃんの顔だけをおっぱいに近づけないようにしましょう。



顔だけをおっぱいに向けてると体の軸がねじれがち



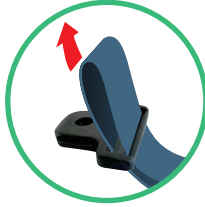
5 赤ちゃんの首や体をやさしく支えながら授乳します。

6 授乳後は赤ちゃんを下ろし、サイドボタンを押して外します。

ベルトの長さの調整方法



1 ベルトの輪になった部分を引き出します。



ベルトが長くなる



ベルトが短くなる

2 きついときは、奥側のベルトを引いてゆるめましょう。ゆるいときは、手前側のベルトを引いて調整しましょう。

ベルトの通し方

●バックルが外れたとき ●洗濯のため外したとき

1 穴①に裏から表へ通します。

2 穴②に表から裏へ通します。

